



香川西部支部総会の報告

支部長 山本 宏(1977年度 人文学科卒)

日頃は、同窓会活動に深いご理解、ご協力を賜りありがとうございます。
2002年1月13日「紅梅亭」(琴平)において、第2回香川西部支部総会を無事開催することが出来ました。これも皆様のご協力のたまものと厚くお礼申し上げます。

当日は、吉田卓司学長や多数の先生方、同窓会本部役員、多数の同窓生にご出席いただき盛大に総会を開催することができました。又、懇親会の場においては、和気あいあいの中にも活発な意見の交流ができたと思われま。

香川県には高松支部、香川西部支部の2つの支部があります。香川西部支部は、学院のお膝元であり約4000名の会員を数えますが、この4000名の力を是非、学院の発展の為に役立てたく思います。その為には、是非、同窓会にご参加ください。そして皆様の力を同窓会において発揮してください。2年後に第3回総会開催予定です。その時、皆様にお会いできることを楽しみにしています。



徳島県支部総会報告

支部長 岩脇 紘一(1967年度 基督教学科卒)

1998年3月、支部結成総会以来、約4年ぶりに第2回総会を2002年2月17日に開催いたしました。

開催に際し、四国学院大学から吉田卓司学長、同窓会本部からは林会長を始め、多数の同窓生の応援をいただきました。総会においては、大学の現状及び今後の展望等について、ご報告がありました。

徳島県支部は、支部活動をより活発にそして本部方針に対し、強固な支援体制がとれるよう、支部組織の見直し及び役員改選を行いました。その一つが、副支部長を1名から4名体制に移行しました。

県内同窓生も1000名を超えておりますが、各学科卒業生の現状把握等、卒業生同志のつながりが充分だとは思えません。支部の当面の課題としては、同窓生のネットワークづくりに取り組み、円滑な支部活動が行えればと願っています。卒業生一人ひとりが築き上げてきた歴史と伝統を、在学生に対しての支援活動に生かせればと考えております。

今回の総会参加者は50名余りでしたが、卒業後33年ぶりに歌った「カレッジソング」に懐かしさと青春に立ち返った思いがしました。懇談会では、一人ひとりが自分自身の現状や昔の思い出を語っていただき、一段と親睦の和を深めることができたと思います。

四国学院大学も少子化現象を含めた社会情勢の影響を受け、運営面で転換期を迎えています。私たち同窓生の「心の故郷」の益々の発展に、微力ながらお手伝いさせていただければと思っております。

今後とも支部会員の皆様のご協力とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



高松支部総会と懇親会の報告

支部長
牧本 憲尚(1977年度 社会福祉学科卒)

延び延びになっておりました第3回高松支部総会と懇親会が、2002年2月24日、本部及び各支部役員の方々のご協力により開催することが出来ました。大変有難うございました。

今回は、年度末でもあり、1ヵ月余りに香川西部・徳島各支部総会が開催され同窓会事務局には大変お世話になりました。

当日の会場は、学院から学長、前理事長、前学長と5名の先生の出席をいただき、70名ほどの前回よりこじんまりとした総会でしたが、学院を想う気持ちは誰よりも熱い物を持っている卒業生であると思います。残念ながら、卒業生の年齢層が広がりすぎて、若い年代の卒業生が毎回少ないというのが

現状で、今回役員の変更がありました。今後、組織、役員構成についても考える必要があり、多くの卒業生に出席していただける総会にすることが、同窓会の活性化であり、発展につながると思います。これが、次回開催までの課題となっております。

今、同窓会は、さまざまな形で経営に参画し学院当局から注目されています。同窓会の支援なしには、これからの私学経営は厳しい状況になっていくと思われます。私達の学院の生き残りの為に、同窓会が貢献できることは何か、皆で考えていきたいと思っております。同窓生の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。



滋賀県支部結成総会を終えて

支部長
米澤 勝(1978年度 英文学科卒)

6月29日(土)に滋賀県支部結成総会が、ラ・ポーズ(びわこ草津キャンパス)BKCにて行われました。香川県より、本部同窓会会長をはじめ役員、事務局の皆様6名、滋賀県在住の方11名、愛知、大阪、兵庫、奈良よりお越しくださった方など、20数名の方にお集りいただきました。

結成総会では、学歌斉唱から始まり、滋賀県支部結成準備委員会代表挨拶、来賓紹介、挨拶があり、議事では、設立趣旨の説明、支部長等の役員選任、今後の活動方針が承認され、正式に滋賀県支部が誕生いたしました。その後、懇親会がもたれ、様々な話がなごやかに続く中、自己紹介では、学生の頃のエピソードもあり、青春時代にタイムスリップした気分になりました。

現在、滋賀県には53名の卒業生がおられます。今後は、多くの方と親睦を深めながら、同窓会さらには母校の発展に向けて、その輪が関西に広がっていくことを願っています。

最後に、滋賀県支部結成にあたり、ご尽力をいただきました、同窓会本部役員、本部事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



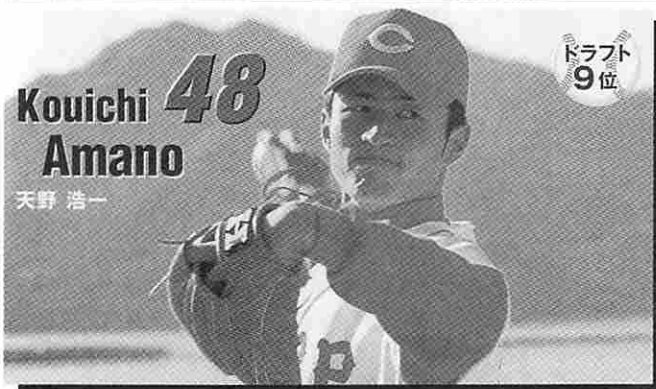
関東支部会からのお知らせ

支部長
山田 昭和(1960年度 英語科卒)

同窓会の皆様におかれましては、各界でご活躍のこととお喜び申し上げます。

支部会活動にご支援、ご尽力を賜りましてありがとうございます。

さて、場所等詳細につきましては、後に郵便、四国学院同窓会ホームページにてご案内いたしますが、2002年11月16日(土)に関東支部総会を開催いたします。関東地区以外の方もご友人とお誘いあわせのうえ多数のご出席をお待ちしております。



Kouichi 48
Amano

天野 浩一

ドラフト
9位

潮の香りがする安芸の宮島を対岸に臨んだ海岸線沿いに広島カープ球団大野寮があります。今春学院を卒業し、1月より入寮してプロ野球の練習に励んでいる天野浩一氏を訪ねて近況をお伺いしました。

天野 浩一 (2001年度 人文学科卒)

高松東高等学校出身 四国学院大学人文学科今春3月卒業
在学中、全国大学野球大会へ出場。投手として活躍し注目され、ドラフト9位で広島カープへ入団(四国学院大学初)

忙しい練習の時間をぬって広島カープ球団寮ロビーに姿をみせた天野氏はトレーニング中にもかかわらず気軽にインタビューに応じてくれました。「こんにちは。」177cmの長身の身体から元気な声。取材を行う中でも練習を終えた関係者には必ず声をかける天野氏。プロ野球の世界でも基本は挨拶であることが改めて感じられました。野球と大学生活を振り返って現況を率直に語っていただきました。

Q -1日のスケジュールについて教えてください。

A 当日試合がある日は6時半に起き8時に出発、練習をして12時半より試合が始まります。夕食後7時から8時半まで練習をして終わりです。

Q -広島カープ大野寮には何人の方がいられているのですか?

A 30名です。球団の練習場は山口県にあるのでバスで40分程かかります。今は午前の練習が終わり休憩時間です。(余談ですが受付で天野氏に取材の呼び出しをしてくれたマネージャーの方は普通寺出身、四国学院もご存じでした。筆者)

Q -練習が厳しいので有名な広島カープと聞きますが一番リラックスできるのはどんな時ですか?

A 風呂に入る時です。疲れがとれますから。

Q -休みの日があるとしたら何をしていますか?土、日も練習なのですか?

A 土、日も練習があります。3月の卒業式には帰りましたがそれ以降の休みはありません。GW明けに1日ありましたがそれが最近の休日ですね。買い物に行きました。

Q -広島は初めての県外生活となりましたね。印象はいかがですか?

A うどんが食べたいです。讃岐うどん。実家が高松ですからね。広島で食べるとしみじみとその良さがわかります。(笑)

Q -普通寺で過ごされた学生時代、大学のゼミについて何か思い出はありますか?

A 生野町の野球部寮で2年間居たこと、1年生のオリエンテーションでレオマワールドに行ったことかな。ゼミは地理の速水先生にお世話になりました。練習のために提出物を何回も延ばして貰ったり。お陰で卒業することが出来ました。

Q -現在の職業以外でなりたかったものはありますか?

A 入学当時は社会科の教師になりたかったのですが、教職課程をとるのであれば相当の時間がかかるので野球に打ち込むことにしました。先生方にも相談して卒業後の進路を決めましたので迷いはありません。

Q -入団が決まった時どのように思われましたか?

A 正直なところ実感はありませんでした。自信もなかったし。入団した実感が湧いたのはこちらに1月に入寮してからです。プロの道を決めた動機は千載一遇のチャンスを生かしたい、なりたくてもなれない人もいますから。その人たちの励みになればと。四国学院初ということもありますし。

Q -天野さんの今後の目標は何でしょう?もちろん1軍で活躍されることだと思いますが。

A はい、マウンドに立って投げる姿をぜひTVで見てもらいたいから、そのためにも毎日が練習です。今の練習は大学時代とはレベルが全く違います。徐々に身体もそのレベルに慣れてきました。努力して早くいい結果を出したいと考えています。

Q -大学時代の野球部の方とは連絡をとっていらっしゃいますか?

A 明日神宮球場で試合がありますが、相手は関東学院大。とにかく普通にやっては戦えない強豪ですが初戦を突破して欲しい。仲間とはメールで連絡を取りあっています。野球をやって良かったと思えることはいい友人に出会えたこと、これが一番の喜びです。明日の試合は頑張ってください。

最後に球団寮の正門で記念写真を撮りました。爽やかな海風が吹き日差しがまぶしい中、敷地の中を案内してくれた天野氏は練習で鍛え込んだ体格で長身の男前。しかし、その鋭い視線はもはやプロのものでした。学院で培った精神と野球で得た素晴らしい友人を財産としてプロ野球の世界で活躍されるよう応援したいですね。

インタビュー/会報委員 飛田 由香 (1983年度 英語科卒)

野球部 全国大会出場報告

「3度目の挑戦」 文学部 教育学科4年 浜田 学

5月12日、徳島大学に勝利。この瞬間、四国学院大学3度目の全国大会が決まった。過去2回は惜しくも負けている。今年こそはと臨んだ大会であった。相手は関東学院大学、23回も出場している強豪である。

私たちは途中で互角の試合を行っていた。だが、少しのミスから失点してしまい、結局4対1で負けてしまった。非常に残念な結果になってしまった。しかし、相手の関東学院大学はベスト4に残った。これは私たちにとって大きな自信になった。自分たちの力は、年々全国レベルに近づいているということである。この結果をしっかりと胸に受け止め、これからの練習の励みにして、悲願の全国大会1勝を達成したいと思う。



ロゴス館宿泊者 突撃インタビュー!

ボランティアサークル「青い鳥の会」OB会



今回は5月11日に当館に宿泊されましたボランティアサークル「青い鳥」のOBの方々をご紹介します。

お話を伺いた方は

- 玉井 利武 (2000年度 社会福祉学科卒 高知県在住)
- 松木 由佳 (2001年度 社会福祉学科卒 善通寺市在住)
- 金築 里佳 (2001年度 人文学科卒 京都府在住)

福祉関係の仕事に携わる皆さんに近況をお伺いし学生時代のボランティア活動を中心にインタビューしました。

Q -まずお伺いしますが「青い鳥の会」とはどんなサークルなのでしょうか?

A 福祉施設において現役学生がボランティア活動を行うサークルで週2回火、土曜日(月1回日曜日)に行っています。

Q -今回宿泊された方はOBの方ですが現大学生の方は?

A 今回はOB18名が参加しました。現学生達数名が飲み会に飛び入り参加し、大いに盛り上がりました。

Q -いつも定期的に会合を開かれているのですか?

A 特に決まってはいないのですがOB同士が再会したときなど「やろうか!!」とノリで出来てしまうのです。卒業後1~2年の人の参加が多いですね。

Q -ロゴス館を利用して良かったなと思うことは?

A それはもう値段が経済的だから。それにきれいですよね(清潔)。静かだし。

Q -逆にこれは不便だなと思ったことは?

A 門限後の出入りですかね。今日は焼肉屋さん(久鶴)で食事をしますから遅くなります。(11時以降は鍵を渡しております。管理人)

Q -社会に出て自分が変化したところがありますか?

A 松木:私は学生時代から関係している福祉の仕事で子育て支援のNPO法人(善通寺市では初)を立ち上げました。大学の先生の後押しもありスタッフも面識があり環境的には恵まれていると思います。

金築:私は卒業後、資格をとるため仏教大学でさらに勉強を続けています。ですからまだ就職はしていないので今は修行中です。

玉井:高知市の精神障害者通所授産施設に勤めています。福祉関係のOBにも会いますので社会に出ても繋がりを感じます。先輩から暖かい声をかけていただくと嬉しいですね。

Q -「ロゴスだより」を同窓会からお送りしていますが読まれたことはありますか?

A 松木:(同窓会の)住所変更してないから実家に来ていると思います。(笑)

玉井:僕は第2号の陸上同好会インタビューにも写真で登場しましたよ。(偶然)

Q -今回参加できなかった方にメッセージをどうぞ!

A 今回は仕事の都合で参加出来なかった方、次回はぜひご参加を!お待ちしております。

Q -同窓会ホームページがあるのはご存じですか?

A へえ。知らなかった。掲示板があるんですね。これを使って会合の呼びかけが出来ますね。

ロゴス館ロビーに集まってくださった皆さんは卒業してまだ間もない方が多く新鮮な印象を受けました。福祉の仕事は苦勞もある事と思いますがOB会に参加して旧交をあたためることは仕事の情報交換にもなり又精神的にリフレッシュできますね。

これからもOB会の発展をお祈りすると共にご利用をお待ちしています。



ロゴス館利用案内

旅行の宿、同窓会場としてお気軽にご利用ください。1階ホールのみのご使用も可能です。週末は大変混み合いますのでお早めにご予約を。
休館日/お盆・年末年始

部 屋	定 員	室 数	使 用 料
2 階 和 室	10 人	2	一人 1,200円
2階洋室(ベッド)	8 人	2	一人 1,200円
3 階 和 室	4 人	2	一部屋 7,500円
3 階 個 室	1 人	4	一部屋 3,000円

お問合せ・お申込は 四国学院同窓会事務局 平日 9:30~17:00
☎ 0120-459500 FAX 0877-63-4599

卒業生インタビュー 菓子木型職人 市原 吉博



市原吉博 (1966年度 英語科卒)

ロゴスだよりをご覧の皆さまは香川県の伝統工芸品についてご存じでしょうか。朱色の後藤塗り、張り子の虎、讃岐一貫張などの工芸品の数々。古くは生活の必需品であり、道具であった品々は昔を懐かしむ趣のある伝統品として私達の日常に見受けられます。讃岐の三盆糖の造形は木型によって作られています。精巧な型を作り、和菓子の美しさを引き立てる木型職人。市原吉博氏は1999年に香川県伝統工芸士に認定されました。

香川県伝統工芸士 県指定伝統工芸品の制作者のうち優れた伝統技術、技法を持ち20年以上の経験を持った人を市、町から推薦、県で認定を行う制度で1994年に設けられ、現在97名を認定している。

高松市花園町の市原氏のご自宅を訪問すると、玄関には緑が映える美しいガーデン、木型工房はコンクリート造りでギャラリーも備えてありました。ジーンズ姿の市原氏が登場。

昔の職人さんをイメージしていた私は期待を軟らかに変化させて、幾つかの質問をさせていただきました。

Q 一木型の注文というのは全国から来るのですか？

A 得意の店は沢山ありますが、各店の注文に従って制作し、オリジナルとして納めています。木型職人が少ないので(国内で6~7人)需要と供給のバランスは取れています。

Q 一和菓子と言えばお茶席、お祝い事には昔から欠かせないものですが。

A そうです。しかし最近の婚礼にはどちらかと言うと洋菓子の嗜好が多くなり、祝用饅頭や手の込んだ細工菓子は時代の変化にさらされています。和菓子もそうですが伝統を守るためには後継者も必要ですし、作る側の努力も大切です。

Q 一TV取材を多く受けられています、取材のエピソードはありますか？

A 取材の申込みが立て続いたとき、気乗りしないタイミングで撮られると表情が硬くなりました。撮られる側にも相性があるんですね。それと私は写真が趣味なので、撮りにくい写真は私が撮ったりして。(笑)
(この後、民放放送のテープを見せていただく素晴らしい表情でした。)

Q 一英語科をご卒業されて、何故木型職人になられたのですか？

A 家業が菓子木型の卸業を営んでいましたが、短大卒業勤めた会社のリストラで人員整理に遭い、自然と家業を継ぐ事になりました。その頃は多くの木型職人がおられて、木型を商うだけでなく自分で作ってみたいと指導を受けるようになりました。その後自分なりに改良や努力をした結果全国の和菓子店から取引を賜るようになりました。法人化もはかり現在に至っています。

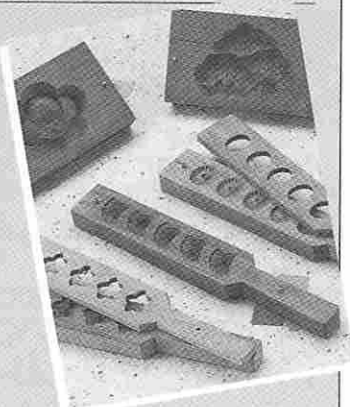
Q 一四国学院に対する思い出はありますか？

A JRが電化される以前の蒸気で走る機関車で高松から通学していました。(昭和40年)線路に立ちこめる黒煙が印象的でした。学院では外国から取り入れた文化的なものを程よく学生達に還元してくれ、学生達は親切な人が多かった。パンカシな高校時代とは違い、心に潤いを与えてくれ人間を見つめ直すことができ、それは今の私の財産でもあります。

Q 一市原さんの趣味はインターネットとお伺いしていますが。

A はい、そうです。職人技術は情報公開しても全く同じものは出来ないためH.Pを公開しています。(笑)私の日常を綴った日記も面白いかと思いますのでご覧ください。
(<http://ww8.tiki.ne.jp/~kigata/>)

訪れた工房では2才になるお孫さんが木型彫刻に興味深く見つめていました。桜の木の香りに包まれ日常を送る市原氏。そのご家族も自然に工芸と関わる環境の中で作品は今日も生み出されています。木型の寿命は100年とお伺いしました。伝統技術が次世代へ発展することを節にお祈りして工房を後にしました。



インタビューー
会報委員 飛田 由香
(1983年度 英語科卒)

同窓生からのお便り

～四国学院で得たもの～



三浦 博
(1966年度 基督教学科卒)

四国学院で学んでからは30余年の月日が経ってしまいました。最近四国学院同窓会の県支部総会などへ出ると、かつて学院で共に学んだ友達の前頭には白髪が混じっているのに気づきます。そういう私も頭の毛はかなり白くなってしまいました。30数年前、四国学院の初期の頃に学院で学んだ私たちにとって今だ忘れがたいのは、あの広大な敷地に青々と生えていた芝生であり、春になると見事な花を咲かせていた教務課の窓の外にあった数本の桜の木でした。この桜の木は今でもあるようですが、周辺の建物の建築工事の時に痛めつけられたり、また建物の日陰になったりして日光がよく当たらず、以前のようにきれいな花は咲かせていないようです。このように、当時の四国学院およびその周辺の自然環境はかたがたさばらしたのですが、自然環境以外に私たち初期の頃に学んだ者たちが学院で得たものは何であったかを考えるときに、少なくとも私自身としては、それは「神の発見」(ユダヤ・キリスト教的意味での)ではなかった

かと思っています。卒業以来、折に触れて聖書には親しんできたつもりですし、最近では徳島市で小規模ながら聖書研究会(週1回、出席者約10名)を持っています。卒業してから30数年経ったと書きましたが、その間、私は20余年を海外で過ごしています。初めてアメリカへ行った時、アメリカの土を踏んだときの印象はなんと「これは四国学院の雰囲気だ」というものでした。私は現在、徳島市に住んで四国大学(徳島市)や国立阿南高専(徳島県阿南市)で英語を教えています。

ところで、初めに書いた学院構内の桜の木に関してですが、できれば学校当局がもっと日当たりの良い場所に専門の業者に依頼して10本なり20本なりの桜の木を植えて、かつてのみごとな桜花を復活させてほしいものですが、もし学校当局ができないようであれば、同窓会の事業としてこれをしてはどうかと思っています。

学院からのご案内

四国学院年間スケジュール(2002年度)

4月	April	10月	October
4月3日	入学式	10月8日~10日	秋季キリスト教強調週間
4月22日~24日	春季キリスト教強調週間	10月18日	学院創立記念日
4月25日	全学遠足	10月21日	パイプオルガン演奏会
5月	May	11月	November
5月11日	プレーデー	11月2日~4日	大学祭
5月15日	学生大会	11月27日・28日	推薦入学選考
6月	June	12月	December
6月24日~28日	マイノリティウィーク	12月4日	学生大会
		12月7日	駅伝大会
		12月20日	第26回メサイア演奏会 学院クリスマス
7月	July	1月	January
7月20日	オープンキャンパス	1月30日・31日	一般入学試験(A)
7月25日	編入(第1次)入学試験		
8月	August	2月	February
		2月19日	大学院・編入(第2次)入学試験
9月	September	3月	March
9月25日	大学院(第1次)社会人入学試験	3月6日	一般入学試験(B)
9月27日	9月卒業式	3月12日	卒業式
9月28日	オープンキャンパス		

秋季キリスト教強調週間 10月8日(火)~10日(木)

★学外から講師を迎え、特別チャペル・講演会をもちます。心を深く耕しましょう。来聴歓迎。

パイプオルガン演奏会

10月21日(月) 午後7時開演 有料

演奏：広沢嗣人氏(エリザベト音楽大学教員)
料 金：学生&シルバー(65歳以上)1,000円
一般 1,500円 小中高生 500円
※当日は各200円アップ

★オルガンの響きが素直に心地よく響く清泉礼拝堂での演奏会は、毎年好評です。県外からも大勢のお客様がこられ、感動を分かち合います。ぜひご来場ください。

第26回メサイア演奏会

12月7日(土)午後6時開演 有料

★「ハレルヤコーラス」で名高いヘンデルの名曲を、本格的なバロックスタイルで演奏します。姉妹校の韓国学生も合唱に参加、一味深いハーモニーを響かせます。

学院クリスマス礼拝 12月20日(金)

★ハンドベル、合唱、パイプオルガンなど、音楽をたくさん使って、クリスマスの喜びをチャペルいっぱいに響かせます。学外から講師を迎え、特別なお話しをしていただきます。

お問合せ 四国学院 宗教センター
0877-62-2111(内線250)

“祖谷山ロッジ” のご紹介

学院は自然が美しい徳島県三好郡東祖谷山村に素敵なロッジを所有しています。卒業生も利用できるそうですので、お気軽にお問合せください。

宿泊料 1,000円

お問合せ 四国学院 学生課
0877-62-2111(内線208)

事務局からのお知らせ

★生まれればかりの「ロゴスだより」は、あなたが発信者。こんな投稿お待ちしております。

支部総会に出席すると「ロゴスだより」が送られてくるのが楽しみです。」という声が多く聞かれるようになりました。是非、載せてあげて欲しい友人がいますとご推薦いただけるほどです。年1回の「ロゴスだより」の到着で早、1年が経ったのかと定着していていることを大変嬉しく思っています。

同窓会のホームページをご覧いただけましたか?

同窓会活動、学院の企画案内等、タイムリーな話題をどうぞ一度、ご覧になってください。(皆さんに飽きられないよう更新、更新にがんばります)“掲示板”も設けていますので、同窓会の案内や個人の近況報告等、交流が図られますようご自由にご利用ください。

広告募集

同窓生の申込に限ります。広告デザインは各自ご用意ください。
広告サイズ タテ3×5cm 広告料 5,000円。

お便り募集

サークル・ゼミ・学科の懐かしいあの人へ、近況報告をしてはいかがですか? 同窓会、学院へのご意見ご希望等何でもかまいません。字数は50字~200字まで。

サークル・ゼミ・他諸団体のOB会案内・報告

卒業後の交流、頑張っている様子をお知らせください。

サークル・ゼミのOB会登録

当会では、卒業後の各団体での盛んな活動を支援しご協力をいたします。団体登録をしていただきますと必要時、会員の最新の住所で名簿や宛名ラベルを作成いたします。尚、作成にあたりましては、個人の申出がございましたらデータの提供は行わないよう注意もしておりますのでご連絡ください。

会員名簿の販売

1999年度版 定価4000円(送料込み)販売は、会員のみ限定しています。

住所変更届のお願い

名簿で住所不明や各会合のご案内をお届けできない悲しいことにならないよう、ご結婚や転職等で住所変更がございましたら必ずご一報ください。

ご注意ください

当会とは一切関係のない団体から、電話やハガキで住所調査や寄附の勧誘等があったと連絡を頂いております。当会による活動につきましては、会報やホームページで前もってお知らせいたしますので、充分ご注意ください。

編集後記

会報委員になり、早4年が経とうとしています。毎回ロゴスだよりを楽しみにしてくださる方もいらっしゃるかと。今回はインタビュー取材が多く、各界で活躍されている卒業生と会うことができました。世代を超えても本学院の卒業生という絆を感じられたことは私の大きな喜びであります。これからも様々な世界で活躍される方々をご紹介したいと思いますのでどうぞお楽しみに!!

会報委員 飛田 由香(1983年度 英語科卒)